

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立上尾かしの木特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	児童生徒・保護者や地域の期待やニーズの把握に努め、学校の目指すべき方向を評価運営委員会等で検討して今年度見直しが図られている。学校の現状や課題等を踏まえて概ね適切に設定されているが、きめ細かく丁寧な個別指導、熱心で親身な教職員など、学校の強みや特色を生かしたものにすると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、児童生徒の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。やや同様の目標が続いているので学校の置かれた状況などを把握した上で、目指す学校像の実現に向けて中期的な目標となるよう更に検討・整理し、目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評価懇話会での意見や保護者アンケートの分析結果をまとめ、「かしの木学習プログラム」を策定して教職員間で共通理解が図られている。学部間の連携などを強化し、よく議論しながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策や評価指標を設定するに当たり、職員会議等で教職員間の共通理解が図られている。評価指標がやや抽象的なものとなっており、方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、授業における個別目標を踏まえた児童生徒の変容に着目した指標を設定するなど、より具体的に取組を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	重点目標である安心・安全な学校づくりに向け児童生徒個人の備蓄品の整備や防災訓練等の取組が実施されるなど、校長は課題の解決の方向を教職員に示している。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に教職員が共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校の取組について保護者から重要度と実現度をアンケートにより調査し、学校評価支援システム（慶應義塾大学開発）を活用してニーズ度を算出している。アンケートの分析結果や学校関係者の意見を教職員に具体的に示し、達成状況や課題の共通理解を図っている。前年度の課題が次年度の目標・方策の設定に生かされているが、分掌・学部等と学校全体を連携させるなど、より組織的なPDCAサイクルを確立すると更に良い。	
特記事項			